

MORIWAKI STEM KIT

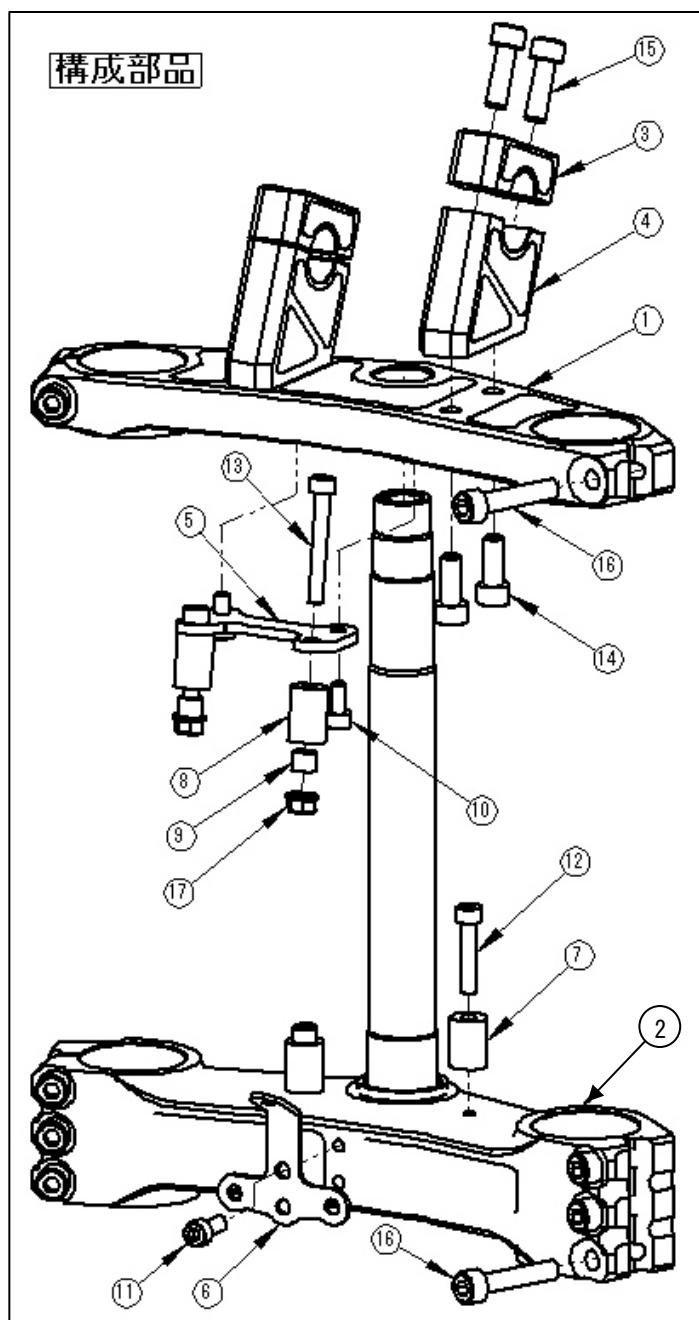
Kawasaki ZEPHYR1100

取扱説明書

△作業される前に必ずお読み下さい

【パーツ一覧】

No	部品番号	商品名	入数	単価
1	53300-20215-10	ブリッジ、フォクトップ	1	¥30500
2	53219-20215-10	ステム サブ ASSY, ステアリング	1	¥150000
3	53131-20215-10	アッパーホルダー、ハンドルパイプ	2	¥3800
4	53132-20215-10	アンダーホルダー、ハンドルパイプ	2	¥7000
5	53304-20215-10	ステー、キー、フォクトップ	1	¥2500
6	33105-20215-10	ステー、ライト	1	¥2000
7	0311-06151-4410	カバー 6x15x20	2	¥350
8	0311-06151-6410	カバー 6x15x22	2	¥350
9	0311-06080-8400	カバー 6x10x7.5	2	¥180
10	970000-06012	ステンキャップボルト M6x12	2	¥100
11	970000-06015	ステンキャップボルト M6x15	1	¥70
12	970000-06030	ステンキャップボルト M6x30	2	¥75
13	970000-06045	ステンキャップボルト M6x45	2	¥160
14	970000-08020	ステンキャップボルト M8x20	4	¥180
15	970000-08025	ステンキャップボルト M8x25	4	¥75
16	970000-08040	ステンキャップボルト M8x40	8	¥125
17	980010-06000	フランジロックナット, M6	2	¥70
18		取扱説明書	1	



STDを使用するパーツ (ヘッドパイプ上部)

ナット 2.2mm	92015-1873
ワッシャ	92200-0134
ナット 2.5mm	92015-1810
ナット 2.5mm	92015-1803
シール	92049-1214
リング	92055-1459

【製品名】 ZEPHYR1100 ステムキット
(Parts No. 05330-20215-10)

【仕様】 《適応車種》 車種名 ZEPHYR1100
《オフセット》 35mm 、 《フォークピッチ》 210mm
《フォーク径》 ϕ 43mm 《Fスタンド用ボス径》 ϕ 24mm x 30mm

⚠ 注意事項

- ① 作業はエンジンが十分冷めてから行って下さい。エンジンやマフラーに触れて火傷をする可能性があります。けが防止のため、軍手を着用して下さい。
- ② エンジンを運転する場合には、必ず換気の良い場所で行って下さい。
- ③ ステムキット取付け時には、各部の緩みなどのトラブルが発生しないように各部の締め付けを十分確認して下さい。特にブレーキ周りの取付けの不良は、大事故を引き起こす可能性があります。また、ステムキットが各部と干渉していないか確認して下さい。
- ④ 本製品は出荷時に仮締めしてある部品がありますが、取付け時には、必ず本締めして下さい。
- ⑤ 走行中の振動により、ボルト類が緩むことがありますので、定期的に増し締めをして下さい。特に転倒時には緩みやすくなりますので必ず点検をして下さい。
- ⑥ 本製品は、基本的にスタンダード車両を対象としています。取付け車両に改造箇所がありますと装着できない場合があります。
- ⑦ 不正な取付けによるステムキット破損等の返品は、お受けしておりませんのでご了承下さい。また、転倒歴のある車両では、フレームの歪みや関連パーツの損傷により、取り付かない場合がありますのでご注意下さい。

【セッティングについて】

- ・ ハンドルバー位置はSTDに比べ、17mm BACK / 27mm UP となる。
- ・ トップブリッジ上面はSTDより8mm低くなる。
- ・ STDタイヤの120-70/R18 → 120-70/R17へ変更した際にトレールが適正化される様に設計されている。
→ 17インチ化すると、車高を保つ為に12mm程度の突き出し量補正が必要になる。
→ STDのFフォーク(800mm)で車高を保つには、フォーク長が4mm足りない。(12mm-8mm=4mm)

☆ 上記を踏まえて、ここにセッティングの一例を示す。

- ・ 17インチ化した上で、適正な車高を保つには何らかの方法でFフォークを長くする必要がある。
- ・ STD：800mmに対して、815mmのFフォークを使用した場合。
- ・ 適正な車高を保つ為の突き出し量は、→ $(815\text{mm}-800\text{mm})-12\text{mm}+8\text{mm}=11\text{mm}$ となる。

※ここで言う適正な車高とは、STDに合わせる事を意味しており、上記はあくまで一例である。

【メンテナンスについて】

ベアリング部の円滑な動きを妨げないように、潤滑には十分気を付けて下さい。

振動によって、ボルト、ナット類が緩むことがありますので、定期的に増し締めをして下さい。

特に転倒時には緩みがないか、点検をして下さい。

本説明書は末永く保管し、メンテナンス等の機会には、活用するようにして下さい。

製品上の問題点、取付け時の不明点等がありましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。

(株) モリワキエンジニアリング (営業部)

〒513-0825 三重県鈴鹿市住吉町6656-5

Tel 059-370-0090 Fax 059-370-0152

HP <http://www.moriwaki.co.jp>